

## 岩手大学大学院連合農学研究科の構成

### 構成大学

#### 岩手大学農学部

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8  
<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/>



#### 弘前大学農学生命科学部

〒036-8561 弘前市文京町3  
<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/>



#### 山形大学農学部

〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23  
<http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>



#### 帯広畜産大学畜産学部

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地  
<http://www.obihiro.ac.jp/>



### 連携大学院

#### 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター

〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4  
<http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/>



#### 公益財団法人 岩手県生物工学研究センター

〒024-0003 北上市成田22地割174-4  
<http://www.ibrc.or.jp/>



#### 地方独立行政法人 青森県産業技術センター

〒036-0522 黒石市田中82番地9  
<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2>



### 協定校

#### サスカチュワン大学(カナダ)\*

<http://agbio.usask.ca/>  
\*サスカチュワン大学と岩手連大とのデュアル  
ディグリープログラム制度あり。



#### モンゴル生命科学大学大学院 モンゴル生命科学大学植物防疫研究所

<http://www.msua.edu.mn>



#### ダッカ大学 生物科学部 (バングラデシュ)

<http://www.du.ac.bd/academics.php>



## 岩手連大に入学するには

### 1 入学資格の確認

出願時に各種の研究機関、企業等(自営業を含みます)に就業し、入学後も引き続きその身分を有する方は、社会人入学の出願資格を有します。

### 2 入学を希望する専攻・講座・教員のサーチ

岩手連大のホームページには、学生指導の資格を持つすべての教員の所属大学、専攻、連合講座、研究課題が公表されています。この中から、自分の研究分野及び研究内容が合致する教員を確認ください。

### 3 教員とのコンタクト

入学を希望する分野が決まったら、事前に受け入れてほしい主指導教員となりうる教員と連絡をとり、より詳しい情報を入手します。教員とのコンタクトに際しては、ホームページに掲載されているメールアドレス等を参照ください。

### 4 募集時期・検定料

学生の募集は、7月頃(10月入学及び第一期4月入学)と11月頃(第二期4月入学)の2回行っています。入学検定料は30,000円です(構成大学の修士課程を修了して、3年以内の方は検定料が免除されます)。修士課程を修了していない方は、これに先だって入学資格の審査がありますので、手続きの時期にご注意ください。

### 5 入学試験

入学試験は、9月(10月入学者及び第一期4月入学者)と2月(第二期4月入学者)に実施され、社会人入学の方には最近の研究内容と入学後の研究計画についての口頭試問があります。判定は、口頭試問の結果と他の提出書類の審査結果を総合して行います。

### 6 入学手続

入試に合格後、入学料、授業料の納付など、入学手続きが必要となります(構成大学の修士課程を修了して3年以内の方は入学料が免除されます)。4月入学、10月入学ともに入学オリエンテーションがあります。

詳しくは岩手連大ホームページをご覧ください。

<http://ugas.agr.iwate-u.ac.jp/>

岩手連大 検索



問い合わせ先・願書請求先



## 岩手大学大学院連合農学研究科

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8  
岩手大学大学院連合農学研究科事務室  
TEL. 019-621-6249  
FAX. 019-621-6248  
Eメール: [rendai2@iwate-u.ac.jp](mailto:rendai2@iwate-u.ac.jp)



# 社会人入学の手引き

岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)

社会人の皆さんへ

岩手連大で学び  
博士の学位を習得しませんか？



## 岩手連大入学のすすめ

岩手大学大学院連合農学研究科(岩手連大)は、帯広畜産大学、弘前大学、岩手大学、山形大学の4つの大学で組織(構成大学)された博士課程後期3年をみの独立研究科です。

国内北部に位置する4つの構成大学の特色を活かした教育研究体制を整えることにより、農学分野での先端的・学際的諸研究を推進するための研究科として、1990年4月に設立され、620名(2014年3月現在)の課程修了者を送り出してきました。

岩手連大では、国際的視野を持ち高度の専門能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を育成するため、学びやすく、かつ充実した教育カリキュラムを編成し、皆さんの入学をお待ちしています。

## 研究科の構成

岩手連大では、構成4大学の教員が大学の枠を超えて4専攻、10連合講座を編成しています。

研究科	<b>生物生産科学専攻</b> <span style="float:right">入学定員8名</span>
	【連合講座】植物生産学、動物生産学、生物制御学
	<b>生物資源科学専攻</b> <span style="float:right">入学定員10名</span>
	【連合講座】生物機能開発学、ゲノム工学、生物資源利用学
<b>寒冷圏生命システム学専攻</b> <span style="float:right">入学定員6名</span>	
【連合講座】熱・生命システム学	
<b>生物環境科学専攻</b> <span style="float:right">入学定員8名</span>	
【連合講座】地域資源経済学、地域環境工学、地域環境管理学	

※専攻・連合講座の詳細内容は、岩手連大ホームページをご覧ください。

## 入学料・授業料

入学時、在学時に必要となる経費は次の通りです。

- 入学料/282,000円
- 授業料/半期267,900円(年額535,800円)

※上記金額は、2014年4月現在のものの変更に場合があります。  
また、在学中に授業料が改定された場合、改定時から新授業料が適用されます。



## ユニークな教育カリキュラム

岩手連大では、これからの研究者・技術者に不可欠な国際性と優れたコミュニケーション能力の養成に向けて、ユニークで充実した社会人向けの教育カリキュラムを揃えています。

### 社会人カリキュラム

科目	単位数	必修選択
農学特別講義Ⅰ(英語)	1	◎
農学特別講義Ⅱ(日本語)	1	◎
専攻別科学特論	1	○
科学コミュニケーション	1	●
研究インターンシップ	2	◎
科学英語	1	◎
国際学会コミュニケーション	1	◎
実践統計学(日本語・英語)	1	○
社会人特別演習	1	◎
専攻別特別演習	1	●
専攻別特別研究	6	●
研究者倫理	0	●

●:必修科目 ◎:履修推奨科目 ○:選択科目

修了には、必修8単位、選択(推奨を含む)4単位以上の取得が必要です。  
補足)専攻別特別演習の内容:1・2年次の進捗状況報告会の開催

## ユニークな科目の紹介

### 科学コミュニケーション

他大学配属の学生、留学生等と合宿形式で3日間生活を共にしながら、各自の研究構想のプレゼンテーション、博士課程における研究生活のアドバイス、ワークショップ等を行う科目で、交流を通じて広い視野とコミュニケーション能力、課題探求能力等の向上を目指します。



### 農学特別講義Ⅰ(英語)・Ⅱ(日本語)

遠隔講義システムを利用し、全国の連大(18大学)が共同で実施する集中講義で、6月頃に日本語、11月頃に英語の講義が予定されています。毎年、幅広い分野から質の高い講義が提供されます。



### 科学英語

外国人講師による講義です。研究者に必要なとされる英語の基礎的能力の向上を目指します。生きた科学英語に触れると評判の講義です。



## 研究指導体制と課程修了の要件

岩手連大では、学生1人につき主指導教員1名、副指導教員2名の計3名の資格教員による研究指導体制をとっています。副指導教員のうち1名は必ず他大学の教員が担当しますので、研究室に閉じこもらない幅広い視点からの研究指導が受けられます。

- また岩手連大で博士の学位を取得するためには、
- ①3年間の在籍
  - ②単位(特別研究を除く必修2単位、選択4単位以上)の取得
  - ③学位論文の基礎となる主論文(学生が筆頭著者の学術論文)のレフリー付きの学術誌への1編以上の掲載
  - ④学位論文中間発表会の開催
  - ⑤学位論文公開審査会・最終試験に合格
  - ⑥研究科教授会での学位授与の決定

が、要件になっています(優れた研究業績をあげた場合には、3年を待たずに修了可能な早期修了制度もあります)。

※特別研究の単位は、学位授与の決定とともに認定付与されます。

## 社会人入学者のための諸制度

岩手連大では、近年、増加しつつある社会人学生の履修の便を図るため、以下のような諸制度を利用した学びやすい環境を提供しています。

### ●集中講義形式による講義体制

科目のほとんどが集中講義で行われ、事前に講義日程を公表することで計画的な履修ができるように配慮しています。

### ●14条特例による柔軟な指導体制

平日の日中に大学に来ることが困難な方は、時間外の教育、研究指導が受けられる14条特例制度の適応を受けることができます。

### ●研究遂行協力員制度

年間授業料の半額を免除する制度です。

### ●3年分の授業料で最長5年間学べる長期履修制度

社会人は研究や勉学に振り向ける時間が制約されるため、事前に申告することで3年間の授業料で最長5年間の計画的な履修を可能にする制度です。

### ●最短1年間で修了できる早期修了制度

通常、単位を取得して博士の学位を取得し修了するには3年間の在籍が必要ですが、十分な研究能力を有する優秀な学生は最短1年で修了できる制度です。修了に必要な単位は通常と同じです。この場合、一般の修了要件に加えて、学位論文の基礎となる主論文(レフリー付きの学術論文誌へ掲載された学術論文で学生が筆頭著者のもの)が3編以上(うち1編は特にすぐれた論文)または5編以上公開されていることが条件になっています。たとえば、すでに実績を積んだ研究者がこれまでの研究成果をとりまとめ学位を取得する場合、すでに4本以上ある主論文に加えて博士課程在学中に1本の主論文を作成すれば、最短1年間で修了し学位を取得することができます。